

## 令和の日本型学校教育「これからの学びのスタイル」の構築を目指して

水戸教育事務所学校教育課長 佐藤 悦雄

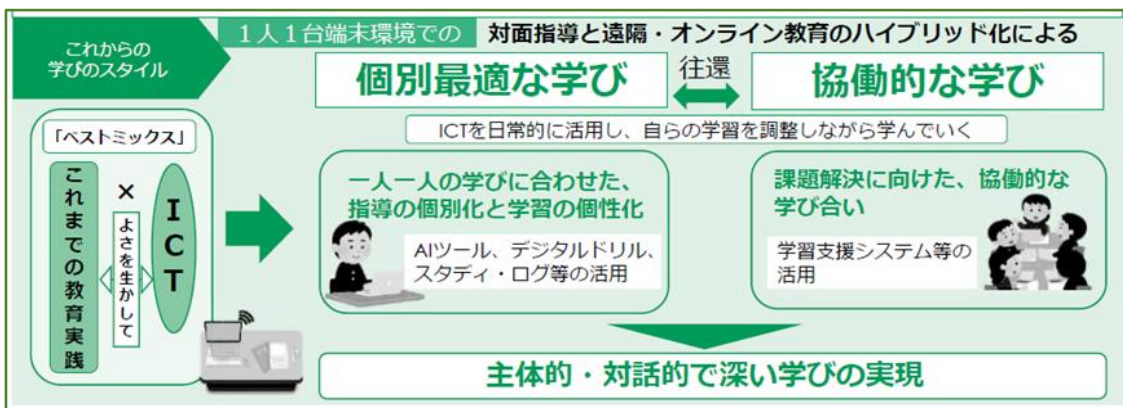
令和4年度も早2か月が過ぎました。コロナ禍で制限や見直しを余儀なくされていた学校生活も少しずつ日常を取り戻し、授業はもとより、運動会や修学旅行、総合体育大会等の行事も、従来通りに実施されることが増えてきたことを大変うれしく思います。今後も、コロナが収束に向かい、子供たちが笑顔と感動にあふれる日々を過ごせることを心より祈るばかりです。

さて、中央教育審議会の答申、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」において、GIGAスクール構想を実現し、学習指導要領を着実に実施することで、\*1従来の日本型学校教育を発展させた新しい時代の学校教育の実現を目指すことが示されました。これを受け、本県においても、令和4年度学校教育指導方針において「新しい時代における子供たちの学びのスタイル」が、下の図のように示されています。これまでの教育実践のよさとICT活用のよさをベストミックスさせることにより、主体的・対話的で深い学びの実現を目指していくというものです。

また、これに関連して、県の新規事業として、「いばらきStuDX推進事業」がスタートしました。各市町村推進リーダー（指導主事）とICT校内推進教師による協議会を中心に、各学校の研修体制を確立し、ICT活用指導力向上を目指していきます。

水戸教育事務所といたしましても、研修会や学校訪問等を通して、モデルとなる授業実践事例や、効果的なICT活用方法等を数多く紹介していこうと考えております。各学校の先生方におかれましても、是非とも研修にお励みいただき、新しい授業スタイルの構築にご尽力いただきたいと思います。

\*1学校が学習指導のみならず、生徒指導面でも主要な役割を担い、児童生徒の状況を総合的に把握して教師が指導を行うことで、子供たちの知・徳・体を一体で学ぶ学校教育



【図：新しい時代における子供たちの学びのスタイル】